

社会福祉

問 1

次の社会福祉制度に関する法律を制定の古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「介護保険法」
- B 「発達障害者支援法」
- C 「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）」
- D 「生活困窮者自立支援法」

（ 組み合わせ ）

1. A ⇒ C ⇒ B ⇒ D

2. A ⇒ D ⇒ B ⇒ C

3. C ⇒ D ⇒ A ⇒ B

4. C ⇒ D ⇒ B ⇒ A

5. D ⇒ B ⇒ A ⇒ C

【問2】

次の文は、社会福祉の関係法規等に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「日本国憲法」第25条第2項では、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上及び増進に関する国の責務が記されている。
- B 「身体障害者福祉法」では、「障害者週間」が定められており、国及び地方公共団体は「障害者週間」の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならないとされている。
- C 「社会福祉法」では、社会福祉を目的とする事業を営業者に対して、「福祉サービスの提供の原則」について定めている。
- D 「生活保護法」では、国民の責務として、国または地方自治体を実施する子どもの貧困対策に協力するよう努めなければならないと、定められている。

(問い合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

【問3】

次の文は、児童の権利擁護とその根拠法に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童の意見表明権は、「児童の権利に関する条約」に規定されており、日本政府は条約の締約国であるため、その権利が守られるように施策を考え実施しなければならない。
- B 親子間の情緒的関与が過度に不足することにより子どもに重大な発達障害を与えることを防ぐため、「刑法」が「保護責任者遺棄罪」という罰則規定を設けている。
- C 親が子どもを学校に通わせないなど、児童の教育を受ける権利が侵害された場合、「学校教育法」において児童のその権利を擁護する規定が設けられている。
- D 子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないように、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

【問4】

次の文は、子どもの貧困問題への対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「生活困窮者自立支援法」は、生活困窮世帯の子どもやその保護者に対して包括的な支援を行う自立相談支援事業を規定している。
- B 「生活困窮者自立支援法」は、生活困窮者である子どもに対する学習支援事業を都道府県等の任意事業としている。
- C 「生活困窮者自立支援法」は、経済的に厳しい状況におかれたひとり親家庭等に対して一時的に家事援助、保育等のサービスが必要になった際に、家庭生活支援員を派遣するなどの日常生活支援事業を規定している。
- D 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」は、ひとり親家庭の子どもたちの生活の向上を図るための事業として、生活に関する相談に応じ、又は学習に関する支援を行うことができると規定している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

【問5】

次の文は、地方公共団体の社会福祉相談支援機関に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「社会福祉法」に定められている福祉事務所は、都道府県、市（特別区を含む）、町、村に、必ず設置されなければならない。
- B 「児童福祉法」に定められている児童相談所は、児童養護施設の入所に関する措置権限をもった機関である。
- C 「知的障害者福祉法」に定められている知的障害者更生相談所では、発達障害者に交付する精神保健福祉手帳申請の判定を行っている。
- D 「売春防止法」に定められている婦人相談所は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」の配偶者暴力相談支援センターとしての機能も果たしている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問6

次の文のうち、社会福祉の各法の年齢の定義に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」における「少年」とは、12歳以上18歳未満の者である。
- B 「児童福祉法」における「障害児」とは、20歳未満の者である。
- C 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」における「寡婦」とは、65歳未満の者である。
- D 「介護保険法」における「第一号被保険者」とは、65歳以上の者である。

1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問6

次の文のうち、社会福祉の各法の年齢の定義に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」における「少年」とは、12歳以上18歳未満の者である。
- B 「児童福祉法」における「障害児」とは、20歳未満の者である。
- C 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」における「寡婦」とは、65歳未満の者である。
- D 「介護保険法」における「第一号被保険者」とは、65歳以上の者である。

1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問7

次の文のうち、社会福祉の行政計画に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 市町村障害福祉計画は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に規定されている。
- B 「次世代育成支援対策推進法」は、市町村、都道府県における行動計画の策定について定めている。
- C 都道府県地域福祉支援計画は、市町村地域福祉計画を支援する事項を定めている。
- D 都道府県障害児福祉計画は、「児童福祉法」に規定されている。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	×	○	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問8

次の文のうち、社会福祉の相談機関と専門職に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 福祉事務所には、精神保健福祉士その他これに準ずる者を配置しなければならない。
- B 児童相談所には、介護支援専門員その他これに準ずる者を配置しなければならない。
- C 児童発達支援センターには、介護福祉士その他これに準ずる者を配置しなければならない。
- D 地域包括支援センターには、社会福祉士その他これに準ずる者を配置しなければならない。

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問9

次のうち、「労働基準法」に規定されているものとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 出産育児一時金の支給
- B 出産手当金の支給
- C 妊産婦の時間外労働の制限
- D 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する労働者の時間外労働の制限

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問10

次の文のうち、公的医療保険制度に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 健康保険制度の保険者は、全国健康保険協会及び健康保険組合である。
- B 健康保険制度において、療養の給付を受けた際の負担金は、年齢区分による差はなく、一律3割である。
- C 国民健康保険制度の保険者は、国及び健康保険組合である。
- D 国民健康保険制度において、療養の給付を受けた際の負担金は、年齢区分による差はなく、一律3割である。

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○